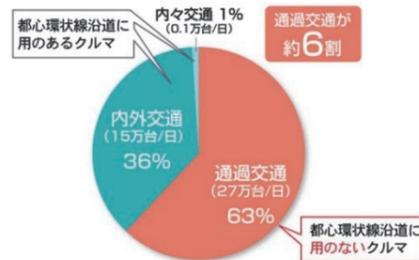


都市戦略2 高度に発達した利用者本位の都市インフラを備えた都市の実現 政策指針5 陸・海・空の広域的な交通・物流ネットワークの形成

現状と課題

- 慢性的な交通渋滞の発生
 - ・ 都心に用いない交通が都心環状線に集中し、慢性的な交通渋滞が発生

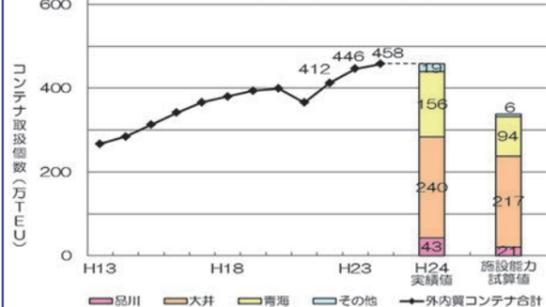
＜都心環状線を利用する交通の内訳＞



(出典)「東京外かく環状道路(関越～東名)」(2013年8月 国土交通省)

- 施設能力を超える貨物が集中
 - ・ 首都圏の消費需要を背景に、東京港のコンテナ貨物量は増加
 - ・ ふ頭周辺では交通混雑も発生

＜コンテナ取扱個数の変化＞



- 増大する航空需要への対応
 - ・ 羽田・成田合わせた発着回数は75万回を実現(2014年度末)
 - ・ 2020年代前半に空港容量は満杯の見込み

＜首都圏の航空需要予測(発着回数)＞



(出典)「首都圏空港機能強化技術検討小委員会」資料(平成25年11月 国土交通省)

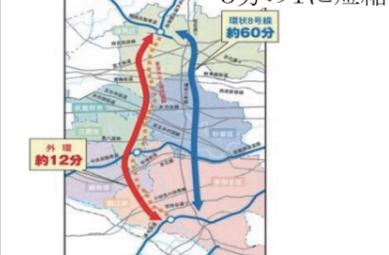
- ◇ 首都圏の人・モノの流れを加速させる広域的な交通・物流ネットワークを形成
- ◇ 2020年大会開催時には、コンパクトな施設配置を生かす、スムーズな移動を実現

主な政策展開

三環状道路の整備を進展させ、都心の渋滞を大きく改善

外環道の整備効果

「関越道から東名高速」間を5分の1に短縮



(出典)「東京外かく環状道路(関越～東名)」(2013年8月 国土交通省)

中央環状線の整備効果

「新宿⇄羽田空港」間を半分に短縮



(出典) 首都高速道路 中央環状線HP

＜首都圏の広域 交通ネットワーク＞



三環状道路の整備に併せて、圏央道内側エリアに2016年度から一体的で利用しやすい新たな料金体系を導入

都心環状線を利用する約6割の通過交通を環状道路に適切に分散させ、都心の渋滞を改善

- ◆ 2020年までに三環状道路の約9割が開通

- 最初の全線開通となる中央環状線が2014年度に全線開通
- 外環道(関越道～東名高速間)を2020年早期に開通
- 圏央道により、東名高速、中央道、関越道、東北道、常磐道、東関東道が相互に連絡

- ◆ 競技会場が集中する臨海部への交通アクセスを充実

- 2020年大会までに、
- 環状2号線や首都高速晴海線(豊洲～晴海間)、臨港道路南北線、国道357号東京港トンネルなどを開通
 - 都心と臨海副都心を結ぶBRTを導入

＜2020年大会を支える交通インフラ＞



(立候補ファイルを加工)

東京港を再構築し、首都圏の物流機能を強化

＜東京港の再構築＞



- ◆ 東京港の機能強化

- 貨物量の増加や船舶の大型化に対応したコンテナふ頭を中央防波堤外側等に整備
- 大井、青海、品川の既存ふ頭を再編・強化
- コンテナ車両待機場の整備などの渋滞対策により、港湾物流を効率化

羽田空港の更なる機能強化と国際化

＜羽田空港の機能強化＞



再拡張された国際線ターミナル (©TIAT)

- ◆ 空港アクセスの強化

- 都市開発に伴うバスターミナル整備と連携し、空港直行バスを充実

- ◆ 空港容量の拡大

- 年間発着枠と国際線発着枠を更に拡大

都心に近く、24時間利用可能な羽田空港の利便性を一層向上

現状と課題

○ 複雑な交通網

- ・ 東京は高密度で安全な公共交通ネットワークを形成する一方、異なる交通事業者や施設管理者間での連携が不十分
- ・ ターミナル駅などでは、鉄道、バス、タクシーが輻輳し、利用者が使いづらい状況が発生

〈混雑する駅構内
 (勝どき駅)〉



○ 成熟社会の都市づくり

- ・ 2020年大会時には、三環状道路の整備などが進展し、都心の車の流れは大きく変化
- ・ 今後は、新たな道路空間のあり方などの検討を進め、成熟都市・東京にふさわしい都市づくりを後押し

〈「東京味わいフェスタ 2014」〉



- ◇ 人の移動に着目し、利用者の視点に立った総合的な交通政策を推進
- ◇ 「交通手段相互の連携」や「道路空間等の利活用」を進め、東京の活力・魅力を向上

「世界一の都市・東京」にふさわしい「世界一の交通体系」の姿

安全・安心	高齢者や障害者を含む誰もが困ることなく安心して移動できる	国際競争力	ビジネスパーソンや旅行者が迷うことなくスムーズに移動できる
快適・便利	通勤・通学や子育てなどの、あらゆるシーンで使いこなせる	豊かさ・環境	成熟した都市の魅力を実感でき、環境にもやさしい

主な政策展開

交通結節点でのシームレスな乗換やバリアフリー化を推進し、誰もが安心して快適に利用できる交通を実現

駅の利便性を向上させ、人の流れを円滑化

- ◆ 駅前広場整備等による鉄道やバス・タクシーの乗換改善

【国分寺駅北口地区】

- 再開発手法により駅周辺を高度利用し、業務・商業・住居等の機能集約と併せて交通広場等を一体的に整備

【都営新宿線一之江駅】

- バスやタクシー乗り場に隣接したエレベーターを整備し、駅利用者の利便性を向上

〈国分寺駅北口地区〉

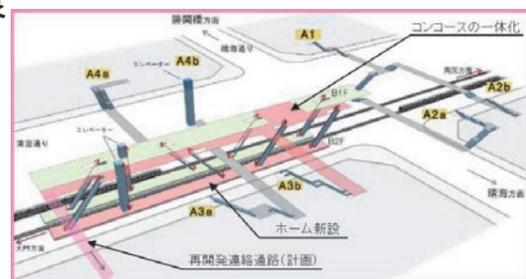


(出典) 国分寺市ホームページ

- ◆ 2020年大会後を見据えた、勝どき駅の大規模改良

- 周辺開発に伴う駅利用者の増加に対応するため、選手村に近い勝どき駅を改良し、2018年度に供用開始

〈都営大江戸線勝どき駅の大規模改良〉



交通機関におけるバリアフリーを充実

- ◆ エレベーター整備による段差解消やホームドア整備により、安全な移動環境を整備

〈ホームドアの整備(有楽町線)〉



(出典) 東京地下鉄株式会社

【政策目標】

- ・ 地下鉄全駅での1ルート確保完了(2020年度)
- ・ 競技会場周辺等の主要駅でホームドア整備完了(2020年)

東京を訪れる人の利便性を向上

◆ 案内サインや通信環境を充実し、利用者に快適な移動環境を提供



【対象となる主な駅】

- ・ 多様な交通機関が乗り入れ、利用者の多いターミナル駅
- ・ 外国人利用者の多い空港アクセスとなる駅
- ・ 競技会場周辺の最寄駅 等

